

福島復興本社における
賠償・除染・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

○ 原子力損害賠償の進捗状況	_____	1	～	3
○ 除染等推進活動状況	_____	4	～	5
○ 復興推進活動状況	_____	6	～	7
○ 流通促進活動状況	_____	8	～	9

原子力損害賠償の進捗状況について

<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

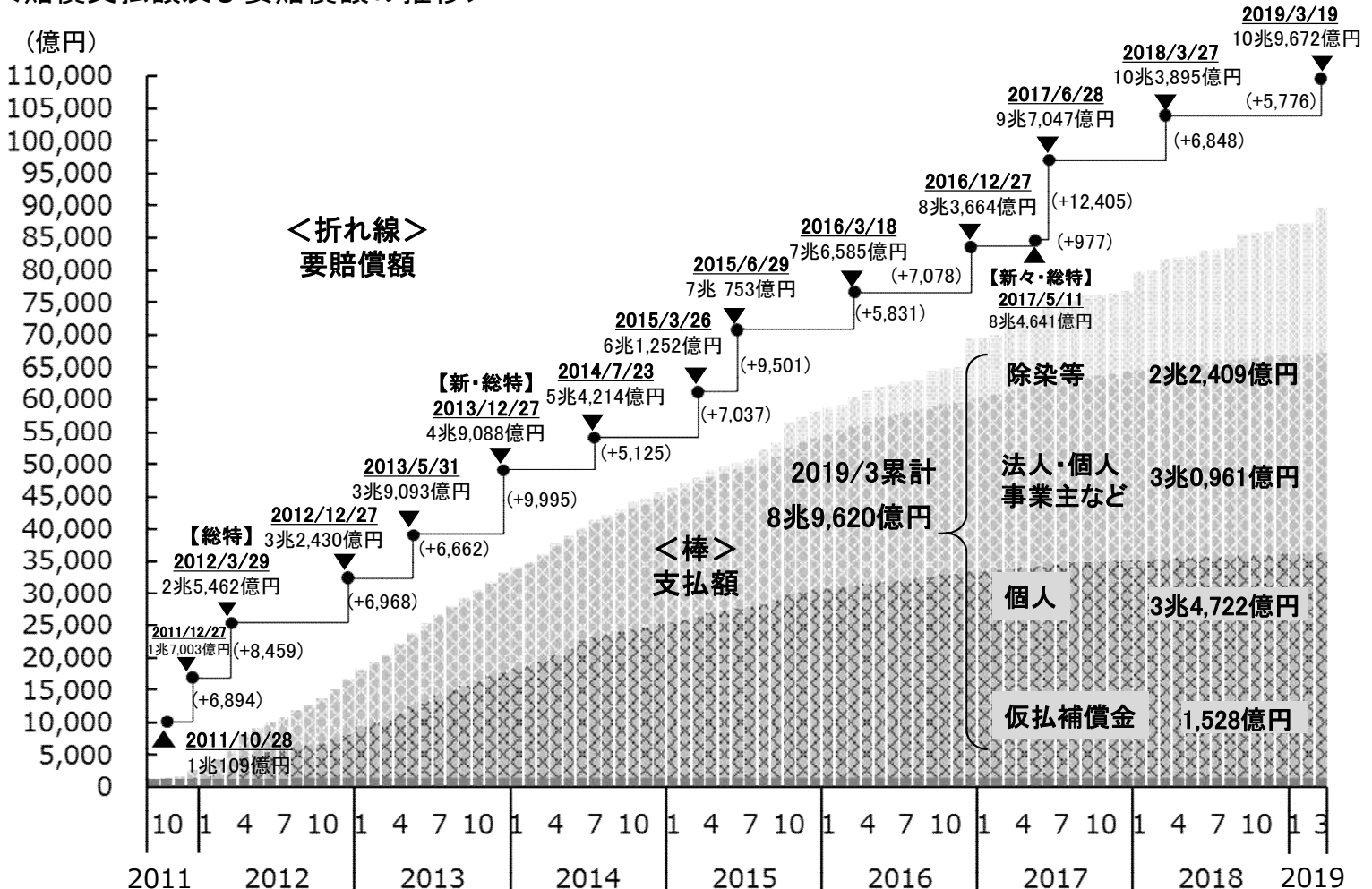
2019年3月31日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,401,000件	約493,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,271,000件	約426,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆4,722億円	約5兆3,370億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額 ※2		約8兆8,092億円 ①
仮払補償金		約1,528億円 ②
お支払い総額		約8兆9,620億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

<賠償支払額及び要賠償額の推移>



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (3/19資金援助額変更申請)	合意いただけただ実績 ^{※1} (2019年3月末現在)
I. 個人の方に係る項目	20,706億円	19,814億円
検査費用等	3,421億円	2,715億円
精神的損害	10,977億円	10,827億円
自主的避難等	3,626億円	3,626億円
就労不能損害	2,680億円	2,645億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	30,514億円	29,215億円
営業損害	5,297億円	5,186億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	18,200億円	17,749億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,171億円	2,437億円
間接損害等その他	3,844億円	3,842億円
III. 共通・その他	21,550億円	18,191億円
財物価値の喪失又は減少等	14,997億円	13,866億円
住居確保損害	6,303億円	4,074億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等^{※2}	36,900億円	22,409億円
合計	109,672億円	89,629億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 82%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難・帰宅・一時立入費用 ・生命・身体的損害 等	9月:法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害 等
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

<ADRの対応状況>

2019年4月5日現在

申立件数		24,722件
解決件数	全部和解件数	19,038件
	取下げ件数	2,566件
	打切り件数	1,978件
	却下	1件
	和解の仲介をしない	1件
現在進行中の件数		1,138件

出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより




※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは24,500件(3月末現在)

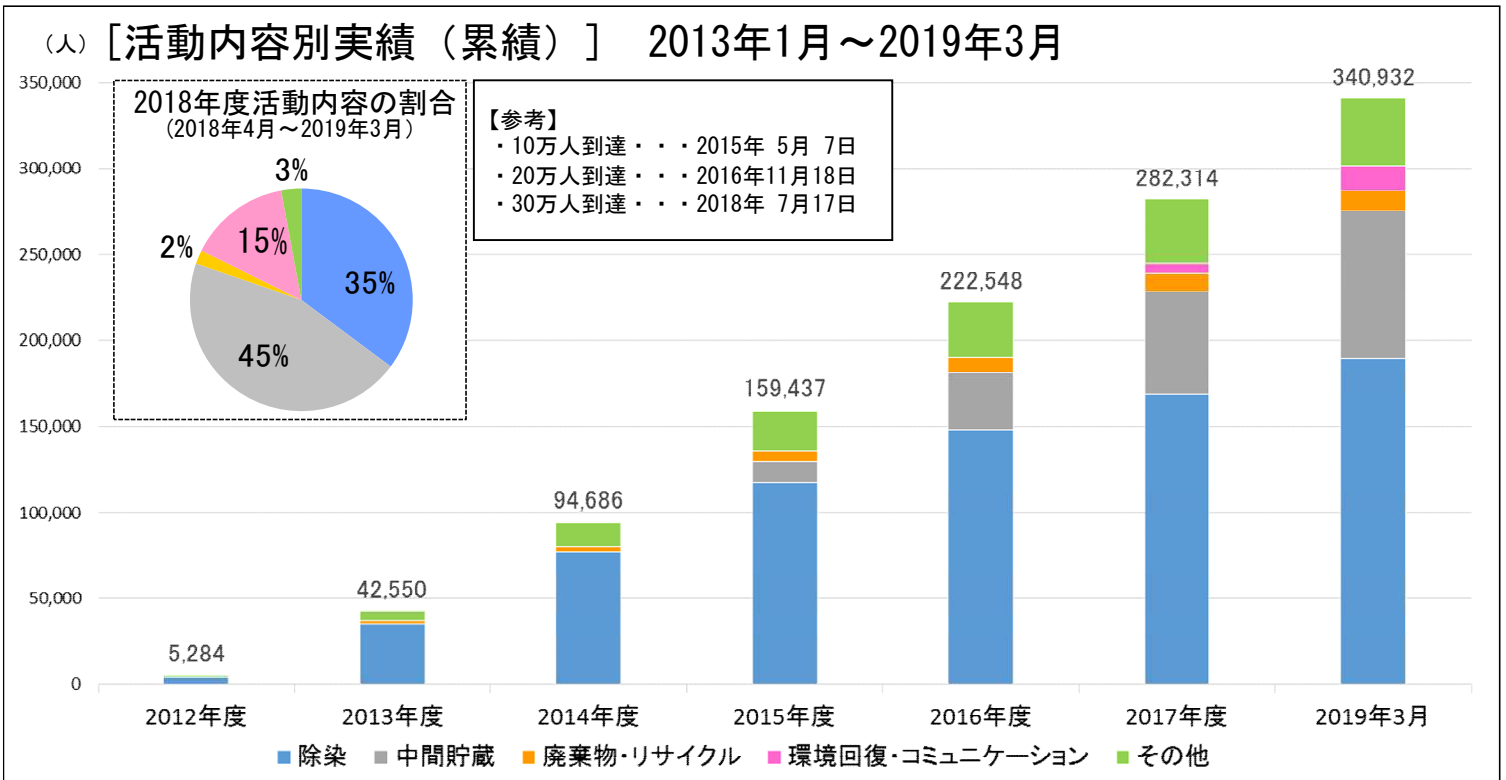
※当社に送達された件数は月平均で約90件(平成30年度)

※現在進行中の件数のうち、70件は一部和解が成立している

※和解金額は約3,121億円

3月の活動実績

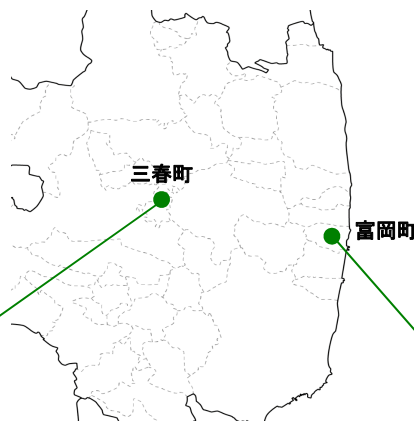
除染	中間貯蔵	廃棄物・リサイクル	環境回復・コミュニケーション	その他
				
1,753人 (38%)	1,863人 (41%)	97人 (2%)	663人 (14%)	206人 (5%)
3月の活動実績合計				4,582人
復興本社設立（2013年1月）からの累計				340,932人



至近の主な取り組み



仮置場の原状回復に向けた対応



富岡町立「にこにこ子ども園」の開園に向けた対応

富岡町立「にこにこ子ども園」の開園に向けた対応

実施時期 2017年10月〔建物等改修前〕、2019年3月〔建物等改修後〕

実施場所 富岡町

実施人数 社員 延べ12人

実施内容 富岡町から測定依頼を受けた環境再生プラザからの要請により、町立の認定子ども園の開園に向けて、建物等改修工事前・後の空間線量率、表面線量率の測定を実施
※ 環境再生プラザ：福島環境回復の歩みや放射線、中間貯蔵などの環境再生に関する情報を伝える拠点



玄関前での空間線量率測定状況



砂場での空間線量率測定状況

仮置場の原状回復に向けた対応

実施時期 2018年2月、2019年2月～3月

実施場所 三春町

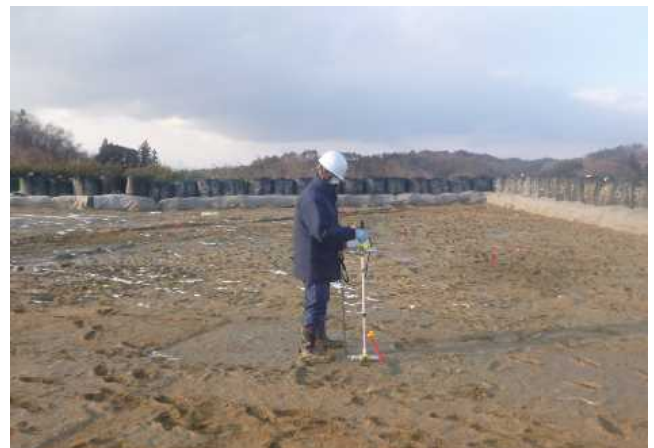
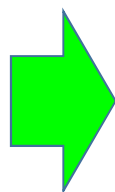
実施人数 社員 延べ19人

実施内容 福島県環境創造センターへの協力として、仮置場の原状回復に向けて、除去土壌等の搬出が完了した場所の空間線量率、表面線量率の測定を実施
※ 環境創造センター：環境の回復・創造に向け、モニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育・研修・交流を行う総合的な拠点

出典：福島県HP ふくしま復興ステーション
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/miharu.html>







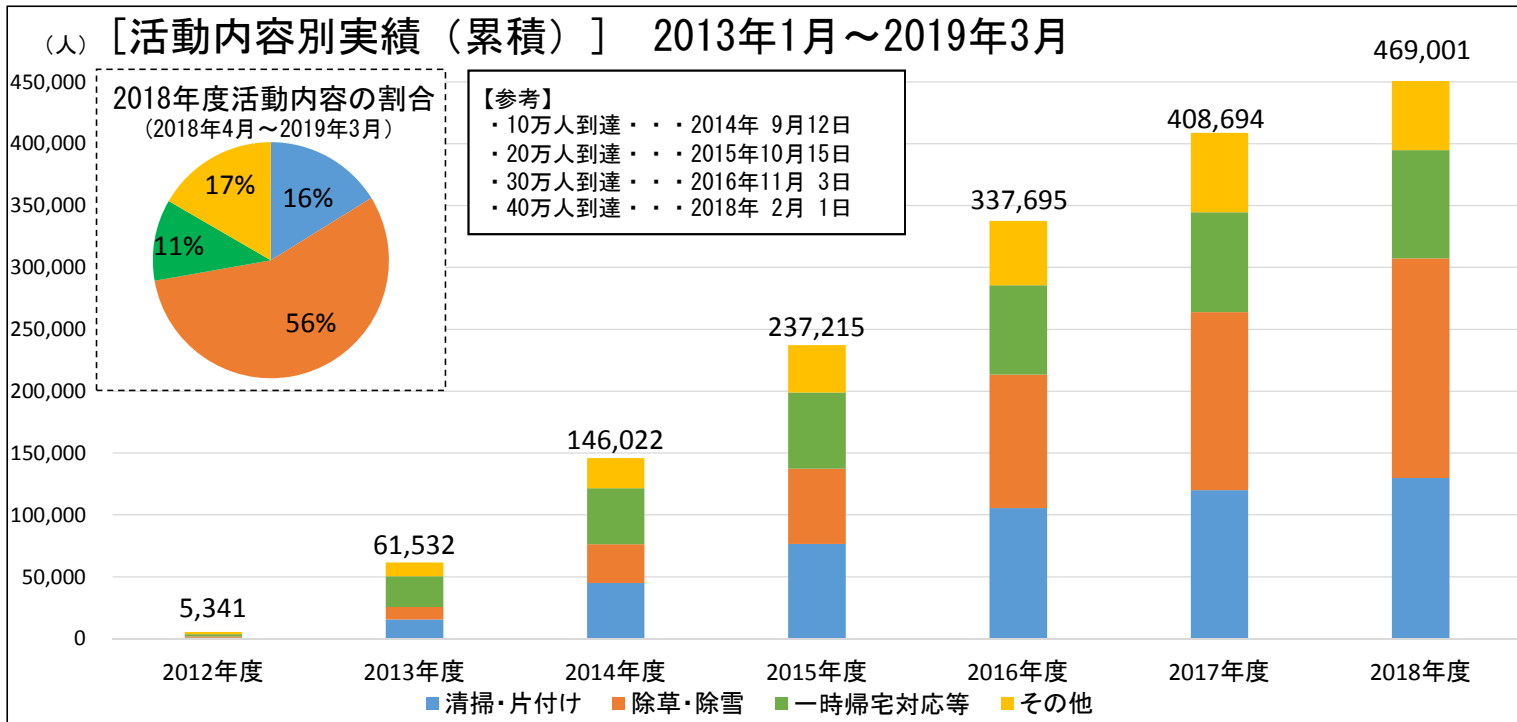
除去土壌等搬出前の様子



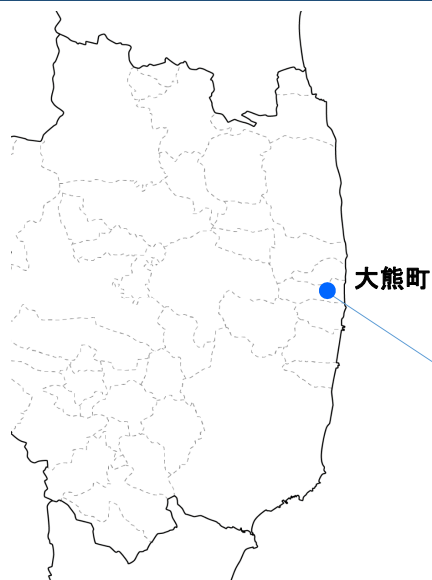
空間線量率の測定状況

3月の活動実績

清掃・片付け (屋内清掃・大型家財搬出等)	除草・除雪 (町道・住宅進入路・公共施設等)	一時帰宅対応等	その他 (イベント運営補助・介護研修会等)
			
502人 (16%)	1,433人 (45%)	563人 (17%)	692人 (22%)
3月の活動実績合計			3,190人
復興本社設立 (2013年1月) からの累計			469,001人



至近の主な取り組み



大熊町 一部避難指示解除に向けた協力

実施時期	新庁舎開庁式、まちびらきイベント：2019年4月14日 準備宿泊期間中の個別訪問、お手伝い：2018年4月～ ※現在も継続中
実施場所	大熊町
実施人数	社員 延べ146人 } 新庁舎開庁式・まちびらきイベント：11人 } 準備宿泊期間中の個別訪問、お手伝い：延べ135人
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 避難指示解除後の2019年4月14日に行われた役場新庁舎の開庁式・まちびらきイベントにおいて、駐車場での車両誘導およびイベント運営補助を実施 ※イベントの主催である「おおくままちコミュニティづくり実行委員会」の一員として企画段階より参加 準備宿泊を開始した2018年4月から2019年4月10日の一部区域での避難指示解除に向けて、宿泊中のお宅へお困りごとなどを伺う個別訪問を行い、ご要請を受けた庭草の除去や屋内の片付け等、帰還へ向けた環境づくりのお手伝いを実施

<新庁舎開庁式・まちびらきイベント>



新庁舎開庁式の様子[2019年4月14日撮影]



イベント「人文字」の様子[2019年4月14日撮影]
(おおくままちコミュニティづくり実行委員会提供)



まちびらきイベントの様子[2019年4月14日撮影]
(人文字に使用する風船の準備)



車両誘導の様子[2019年4月14日撮影]

<準備宿泊期間中の個別訪問、お手伝い>



個別訪問の様子[2019年4月10日撮影]



お手伝いの様子[2018年7月17日撮影]

福島県産品の流通促進に向けた取り組み

【JR名古屋駅での福島フェア！「発見！ふくしま」】

ジェイアール東海フードサービス㈱様が展開するJR名古屋駅構内の飲食店において、福島県のお酒や食材を使用した特別メニューを提供

- 日時：2019年3月1日(金)～31日(日)
- 場所：ジェイアール東海フードサービス㈱様 JR名古屋駅構内 飲食7店舗
 - ・福島県産品の美味しさや魅力を多くの方に知っていただくために開催
 - ・昨年9月に1店舗(そば・酒処 みやび)で開催したところ、好評であったため規模を拡大して実施
 - ・福島牛を使用したメニューを中心に盛況で、福島牛カツカレーは外国人客にも人気
 - ・「名古屋ご当地グルメ × 福島県産品」のメニューも開発し、次回開催を検討中

店舗名	ジャンル	主な提供メニュー名
そば・酒処 みやび	そば・酒処	“ふくしま”蕎麦セット、“ふくしま”の美味4種盛り 等
てつえもん	親子丼、やきとり	伊達鶏の焼鳥、伊達鶏の甘辛からあげ 等
キッチンなごや	名古屋名物	福島県産和牛カツ定食
Curry&Beer Bar WAVE	カレー	福島県産和牛カツカレー
喜多方らーめん 蔵まち	ラーメン	福島県産和牛つけめん
驛釜きしめん	きしめん	福島県産和牛肉きしめん
とり五鐵	鳥料理	川俣しゃもの親子丼

ジェイアール東海フードサービス㈱様での福島県産食材を使用した特別メニューの提供状況



Curry&Beer Bar WAVE
「福島県産和牛カツカレー」



驛釜きしめん
「福島県産和牛肉きしめん」



とり五鐵
「川俣しゃもの親子丼」

※写真提供：ジェイアール東海フードサービス㈱様

福島県産品の流通促進に向けた取り組み

【首都圏における福島のお米の試食販売会】

首都圏の百貨店やスーパーにおいて、継続して福島県産品を購入して下さるファンの獲得に向けて、福島県産品を常設で販売していただいている店舗を含め、試食販売会を引き続き展開

●福島県産米「里山のつぶ」の試食販売会

- 日時：2019年3月25日(月)・26日(火)
- 場所：日吉東急アベニュー様
 - ・ 既に常設棚で「会津コシヒカリ」を販売中
 - ・ 他の福島県産米についてもお勧めし、流通量が少なく希少な「里山のつぶ」での、試食販売会が決定
 - ・ 試食された方からも「美味しい」とのお言葉をいただき、試食販売期間中のお米で1番の売り上げとなり、今回より常設棚で販売開始
 - ・ 「会津コシヒカリ」も売り上げを伸ばし、福島県産米は、定着してきている状況



日吉東急アベニュー様での試食販売会



「里山のつぶ」

- ・ 中山間地域向け品種として福島県が11年の歳月をかけて冷涼な里山(標高300m以上)で広く栽培されるように開発・命名した品種
- ・ 食べたときにしっかりした歯ごたえと、適度な粘りが感じられるお米
- ・ 本格的な販売は2018年産米からであり、まだ新しい希少米
- ・ 一般財団法人「日本穀物検定協会」は、2018年産米を「参考品種(話題性のある産地品種)」において、「特A」と評価

【LINE友だち50万人突破】

- 福島を応援する友だちの輪が50万人超に拡大
(2019年4月22日時点：502,032人)
- 福島ファンとなっていたいただいた消費者の皆さまの発信力を活かし、様々な福島県産品販売イベントや友だち限定のお得情報などを提供
- 今後も、福島ファンが集まるLINE「ふくしま応援隊」での情報発信に期待いただけるよう、福島の生産者様に関する情報やお得なクーポン等の配信について検討

ふくしま応援隊

LINE

I D検索 (@glw2362m)



【今後の予定】

- 福島牛試食販売会
 - ・ 日時：2019年5月3日(金)～5日(日)
 - ・ 場所：千駄木腰塚様 横濱精肉店(横浜市)

